



いの ゆうせい  
**井野 佑成さん**

●石塚小6年  
**信頼される医師を  
目指して**

ぼくの将来の夢は、医師になることです。ニュースや新聞で医師不足の話をよく耳にします。地域によっては家の近くに病院がないため、遠くの町まで通わなければならないそうです。また、救急車を呼んでも受け入れ先の病院がなかなか決まらないということもあるそうです。

ぼくは医師になり、一人でも多くの命を助けたいです。そして、たくさんの人を笑顔にしたり、元気をあげられたりするような医師になりたいです。

**みんなの広場に  
出てみませんか？**

「すてきな仲間たち」「めおと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。  
※「すてきな仲間たち」「めおと人生」は隔月で掲載します

■問合せ 政策調整課広報広聴係  
☎(20)3037

**すてき仲間たち**

あいたい  
**さのまるに愛隊**

市ではこの4月から、市ブランドキャラクター「さのまる」を愛し、さのまるを応援してくださる個人の方を募る「さのまるに愛隊」を発足しました。

年会費は200円で、会員にメンバーズカードを発行するほか、さのまるに会ってシールを集めて応募すると、さのまるグッズが当たる「さのまるに愛隊ラリー」の開催や会員特典など盛りだくさんの内容になっています。

ご希望の方はぜひご応募ください。佐野ブランドをPRするため、市内外で一生懸命頑張るさのまるをぜひ一緒に応援しましょう。

☆さのまるの日々の活動を紹介する「さのまる公式ブログ」をぜひご覧ください！



○連絡先 (観光立市推進室内)

佐野ブランド広報活動推進委員会事務局  
佐野市高砂町2794番地1  
まちなか活性化ビル「未来館」4階  
☎(27)3012

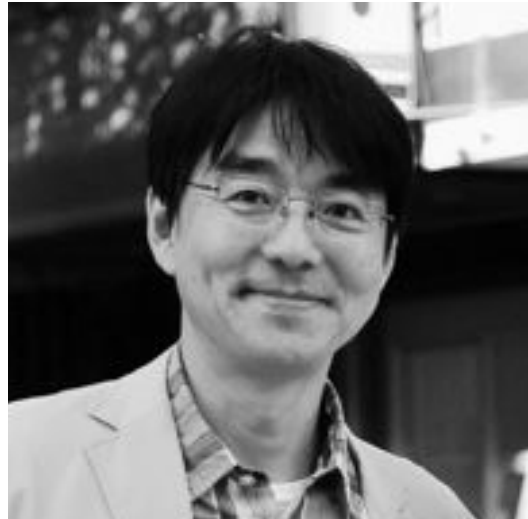
「さのまるブログ」 <http://ameblo.jp/sanomaru0225/>



**今回の表紙 「くずうフェスタ2013の花火大会」 5月12日撮影**

5月11日、葛生あくとプラザ周辺や葛の里壺番館などで、くずうフェスタ2013が開催されました。多くの方が楽しみにしていた花火は、雨天のため翌12日に開催。前日とうってかわった晴天のもと、会場に訪れた大勢の方々が夜空に舞い上がる花火ひとつひとつに大きな歓声を上げていました。

かみおか ゆたか  
上岡 裕さん  
(植上町)



# キラリ★

話題の「ひと」

○プロフィール  
音楽会社勤務後、フリーライターに転身。現在は多数のNPO法人の運営に関わる。環境省、林野庁のアドバイザーを務め、環境キャラクター「そらべあ」をプロデュース。佐野市環境衛生委員。

## めざせ！ 「エネルギーの地産地消」

今年も田中正造が亡くなってちょうど百年目にあたります。

自然と人間が共生する文明を訴え続けた正造の思いを現実のものとするため、上岡さんは環境省、林野庁といった行政、新聞社などの各種メディア、企業、そしてこれまでの人脈を活かしミュージシャンやジャーナリスト、クリエイターなどとの連携を通じて、エコに関する活動に取り組んでいます。

なぜ勤めていた華やかな音楽業界を退職してしまったのですか？の問いかけに「仕事で各地を回り、世界中を見ているうちに、貧困や環境汚染を見過ごせなくなり、気づくと自身も疲れていました。今自分から出てくることから始めようと環境情報を発信するNPO法人エコロジーオンラインを設立しました」「正造の頃の公害は、『加害者』が分かっていたが、現代の加害者は先進国に住む不特定多数の人々であり、『被害者』は世界全体、特に途上国の貧困層だと言われています。だからこそ、私たちの日々の生活を見直すことによって新たな『公害』を減らすことが心かけるべきなのです」と答えます。

国や大資本からエネルギーを市民



上岡さんがプロデュースする環境キャラクター「そらべあ」とさのまる

の手に取り戻す「市民発電」「エネルギーの地産地消」を念頭に、『正造ならきつとこうしていただろう』と考えるながら行動するようにしているそうです。

太陽光パネルとリチウムイオンバッテリーを使い、ハンドバッグほどの大きさで持ち運べる携帯発電機で小さな（ナノ）電力を生み出せ、10時間の充電でLEDライトが22時間も使えるそうです。そんな小さなエネルギーで暮らしを楽しむ人が増えることが、地球温暖化防止の小さな一助となり、まさに「市民発電」なのだと思えます。

福島第一原子力発電所の事故は残念なこと、「デンキ開ケテ 世見暗夜となれり」という正造の言葉通りになってしまいました。本当の意味での「水と緑と万葉のまち佐野」を発信していくことが、正造を生んだ佐野の義務のように思えてなりません。（市民記者 永倉文子）

## 市長からの

### メッセージ



先月から今月にかけては、各種団体の総会などが数多く開催されています。私も時間の許すかぎり出席させて頂きました。市民の皆さんと直接話をするのが市政運営の要であると、改めて感じています。これからも私の政治信条である「対話・協調・融和」の精神で、何事にも前向きに取り組んでいきたいと思えます。

さて、三期目の市政をお預かりすることになり、現在のリーディングプロジェクト「観光立市」に加えて、新たに「スポーツ立市」を掲げたいと考えています。

スポーツには健康維持から希望や夢を与える力など、様々な力があります。私自身も長年、陸上をはじめとする様々なスポーツを経験し、多くのことを学びました。多くの人々に希望と感動を与えるスポーツの魅力、佐野市のまちづくりにぜひ活かしていきたいと考えています。

スポーツは、自ら行う「プレイスポーツ」また、「観戦するスポーツ」や大会運営など「応援・支援するスポーツ」と、人それぞれに合わせて参加することが出来ます。これらの幅広いスポーツの特性を活かし、健康維持や趣味のためのスポーツの推進にとどまらず、大規模な大会を招致するなど、交流拠点としてのまちづくりの大きな柱にしていきたいと考えています。

今年度、総合計画「後期基本計画」を策定しますので、その中に位置づけ、具体化できるよう努力していきます。

今年の夏も、猛暑の予報があります。市民の皆さん、体調管理につとめて、充実した毎日を送れるよう頑張ります。

岡部 正英